

# やましろ

2011年10月

第12号



## 普及センターだより

### 特集 担い手の確保

### 山城地域の農業を支える意欲的な担い手を育てる

山城地域は都市近郊という有利な立地条件を活かした多様な農業生産が盛んで、府内の他の地域に比べて担い手が多い特徴があります。また、学卒、U・Iターン、定年帰農を含めて、就農希望者が年々増えています。

そのため、普及センターでは、新規就農者から企業的経営者まで、個々の担い手のめざす経営に合わせた研修等を実施し、多様な担い手を育成しています。

木津ナス農家養成塾で実習中



女性起業家アグリビジネス創生塾でプラン発表



田辺ナス農家養成塾で勉強中



宇治田原町胡瓜塾で実習中



### 栽培のすべて教えます やましろ野菜産地担い手養成塾

山城特産野菜の新しい担い手を育成するため、普及センターと関係機関が連携して、講義とほ場実習を中心に塾を開講し、スムーズに栽培開始できるよう支援しています。

#### ☆田辺ナス農家養成塾

京田辺市特産「田辺茄子」の新たな生産者を増やすため、JA京都やましろ京田辺支店田辺茄子園芸部会を中心に、開講しています。

昨年は4名が受講し、新たな生産者としてデビューしました。今年は6名を受け入れ、田辺ナス塾オリジナルの動画テキストを活用した講義とほ場実習を行っています。



出荷調整作業の実習



防除器具の使用方の講習

#### ☆木津ナス農家養成塾

色つやの良さと高い市場評価を得ているJA京都やましろ木津支店茄子グループ17名は、新たな仲間を増やそうと今年から養成塾に取り組みました。

ベテラン農家2名が講師を務め、整枝、剪定、施肥、防除などの技術を丁寧に教えています。20歳代～50歳代の塾生5名が週1回のペースで技術を早く習得しようと頑張っています。

#### ☆宇治田原町胡瓜塾

JA京都やましろ宇治田原町胡瓜生産部会が主体となって、今年から胡瓜塾を開講しています。副部会長のほ場と作業場で、週1回、定植から出荷調整までの一貫した実習、栽培の講義を実施しました。塾生3名のうち2名が実践栽培を開始し、残る1名も来年から栽培予定となっており、新しい後継者の育成につながると期待されています。

### ナス栽培を始めました! 奥 治彦さん

(22年度田辺ナス農家養成塾卒業生)

今年から新たに京田辺市でナスを約7a栽培しています。きっかけは、退職後の営農で適当な野菜を探していたところ、塾生募集の折り込みチラシが目にとまり、塾に参加したことです。

退職当初から、ナスも選択肢にあったのですが、田辺ナスの独特の仕立て方や薬剤散布等の様子を見てみると初心者には敷居が高い作物に思えて躊躇していました。

しかし、この塾で栽培に必要な知識・技術が学べる講義と、ほ場の準備から箱詰め出荷まで全作業が体験できる実習を1年間受けたことで、基本的な知識・技術の習得はもちろん、ひとりで栽培する自信がつかしました。

実際に栽培を始めて感じたことは、労働面や収益面を考えると、自分ひとりでやるよりも、家族や気の合う仲間と10a以上のある程度まとまった面積で栽培する方がよいということです。

来年は、少しずつでも栽培面積を増やして伝統ある田辺ナス産地の担い手農家のひとりとして頑張っていきたいと思っています。



ナスの手入れをする奥さん



## 農業基礎講座・栽培基礎講座

就農1～5年の新規就農者を対象に、農業に共通した事柄を学ぶ農業基礎講座と作物別の栽培法を学ぶ栽培基礎講座を開催しています。

今年は、農業基礎講座（連続9回：農薬の安全使用、除草、土作り、農業経営、病害虫防除等）に34名が、栽培基礎講座（7回：水稻、野菜、花き、茶、果樹）に26名が受講しました。

特に今年から山城地域農業士会の協力を得て農業士さんの講義も加わり、非常に好評でした。



北口指導農業士さんが「私の野菜経営」を語る

## 女性起業家 アグリビジネス創生塾



民間講師から実践的な起業ノウハウを学ぶ

農業ビジネスでの起業をめざす山城地域の女性を対象に、起業家育成講座（2年間20回）を平成21年度から開催しています。

受講生は、抱いている夢を「私ブランド」として実現するため、起業プラン（基本計画）をじっくり練り上げ、先進地視察によって実践事例も学び、起業の準備を進めています。

21年度開講（第1期）卒業生13名の内、7名がすでに起業し、後に続けと、夢の実現に向け、皆頑張っています。

夢の実現へと一歩ずつ...

## 起業しました!! 菰野悦子さん

（第1期女性起業家アグリビジネス創生塾卒業生）

私が30代の頃「これからの女性は60才～80才までの生き方を早いうちに考えておかなければいけない」と教えてもらったことがきっかけで、退職後に製菓衛生師の資格を取得し、家の台所で教室を始めました。

そんな時、受講生募集の記事を見て、「起業」という言葉にひかれ、すぐに応募し、1年半かけて一生懸命に勉強しました。

そして、卒業後に保健所の営業許可を取得し、『旬であるものにこだわ



手作りポップで商品PR

ってつくるキッチンサロン「アルモンテ」を私の誕生日にオープ



夏休みの体験教室 右が菰野さん

ンできました。

サロンでは、手づくりパンやピザの体験教室、ケーキの受注販売、また木津川市の八色にぎわい市場では、毎週金曜日にシフォンケーキとパンの販売をしています。お客さんも少しずつ定着し、毎週楽しみにしてもらっているのがうれしいです。

～余裕のある作業で、事故を防ぎましょう～

## トウガラシの害虫防除は天敵で!

精華町青ト部会は天敵による害虫防除に取り組んでおり、昨年から「スワルスキーカブリダニ」（体長0.3mm）の実証ほを設けています。この天敵はコナジラミとアザミウマを捕食し、花粉があれば生存できます。そこで、3月～4月の害虫発生前に天敵をハウス内に放しておく、2ヶ月後には虫メガネでたくさん確認できるくらいに増えて害虫を待ち伏せします。

使った農家からは「農薬散布はアブラムシ防除を1～2回するだけに減った」と喜ばれています。

普及センターは、さらに多くの農家に技術が普及し、減農薬栽培が進むよう支援していきます。



部会員で天敵の効果を確認

## チャの赤焼病、発生に注意



赤焼病の症状

赤焼病は晩秋から春先にかけての低温期に発生する細菌病です。主に傷口から感染し、発病適温は15℃以下です。

強風を伴う降雨や寒害、霜害を受けた後、整枝後など、発病が予想される場合は予防効果のある銅水和剤を早めに散布しましょう。発病を認めた場合には、初発生直後に治療効果のある薬剤を散布します。

幼木園や自然仕立て園では強風で葉に傷が生じやすいので、防風対策も効果があります。

冬季にマシン油を散布すると、赤焼病の常発地や幼木園では発生を助長することがありますので、使用は控えてください。

## 茶品評会 審査結果

入賞された皆様 おめでとうございます

8月に、第64回関西茶品評会が愛知県で、第65回全国茶品評会が鹿児島県で開催されました。山城地域から出品された茶が農林水産大臣賞・産地賞を受賞し、高品質な宇治茶産地をあらためてPRしました。

### ☆関西茶品評会成績 農林水産大臣賞

玉露	京田辺玉露生産組合 出島藤司氏(京田辺市)
----	--------------------------

### 産地賞

玉露	京田辺市
----	------

### ☆全国茶品評会成績 農林水産大臣賞

てん茶	菊岡理恵氏(城陽市)
-----	------------

### 産地賞

てん茶	宇治市
-----	-----

来年の品評会に向けて茶園づくりを始めましょう